

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	梶原 剛	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚 眞一郎	佐藤 和久	豊瀬 和久	山本 富天	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀賢	時松 智弘	田代 元氣	大村 裕郎	賛成	反対
大津町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	5
大津町下水道事業基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
大津町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
令和6年度大津町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
令和6年度大津町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	3
令和6年度大津町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1
令和6年度大津町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
 ■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 空は(棄権) 欠は(欠席)
 その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索

議員の視点

(本会議での質疑の一部を抜粋して掲載しています)



時松智弘議員

問 介護保険の準備基金の考え方ですべての1号被保険者の負担軽減のため、と説明があったが保険料負担を求める時は高齢者であっても高収入ならば応能負担を求め、低所得者は町独自の考え方で負担を軽減するというは矛盾がないか。

答 国からの公費負担と所得に応じた保険料でまかなうというところについては国の介護保険の計画に沿ったものだ。今後進展する被保険者の高齢化の中どのように負担を求めるかは課題と捉えている。



豊瀬和久議員

問 高齢者運転免許証自主返納支援事業の対象者を交通手段の支援をする人としていない人に区別をする根拠は。

答 近隣の自治体に合わせた形で5年さかのぼるという制度設計をしている。



山本富天議員

問 バス運行費補助についてバスの本数が少ないこと、朝の時間帯にもう少し本数を増やせば利用が増えるのではないか。

答 赤字路線であっても町民の交通手段として維持している。バスが不便なところは乗り合いタクシーを利便性の高いものにして交通手段を確保していきたい。



田代元氣議員

問 庁舎駐車場の新紙幣対応ユニットは高額紙幣にも対応可能か。また、利便性向上の観点から、キャッシュレスも対応するべきではないか。

答 現在、千円札しか使えない状況である。新年度においても同じような運用を考えているが、今後はキャッシュレス決済なども検討していく。



三宮美香議員

問 肥後大津駅ビジターセンターのテレビ画像に阿蘇や他地域の映像が流れているが、大津町の観光をPRすべきではないか。

答 令和6年度に観光PRビデオ作成予定。合わせでビジターセンターのPRも行いたい。



荒木俊彦議員

問 大雨が降ると、排水路があふれて、宅地のほうに水が流れ込んでくる実態がある。雨水の安全対策は地方自治体の責任だが対策が全くなされていないのではないか。

答 高尾野の排水路についてはここ数年予算化していないので、今後、現状を把握して予算化し対応が必要な部分があれば対策をしていきたい。



山部良二議員

問 インクルーシブ遊具の設置については、いろいろな特性がある子どもたちが3種類の遊具で遊べるのか、もう少し増設する必要があるのではないか。

答 3種類程度の遊具を設置する予定なので、いろんな形で遊べると考えている。また、今後も増やしていければと考えている。



佐藤真一議員

問 「かんしょ安定生産対策事業補助金」で農家を台湾研修に送るとのことだが、本来の補助金の目的とは全く異なる。

答 補助金交付要綱を見直す。



永田和彦議員

問 予算の配分の中に、厳しい財政計画を見直してしていくような配慮がなされているのか。

答 振興総合計画に基づき事業調整して、全体的な財政計画を示していきたい。

議会活性化特別委員会

新部長抱負意見交換会

委員会総括

委員会レポート

一般質問

表彰



誰もが住みたくなるまちへ

2024年度予算が成立しました

一般会計予算 185億8492万円



3月定例会議 会期期間19日間 3月1日~3月19日

3月定例会議の議案等は
 予算……………17件
 条例について……………27件
 人事……………2件
 その他……………1件

いくつかを町の皆さんの声と共にお知らせします

予算

護川小学校校区学童保育施設立替整備費 1億4,412万円



くわはら みちえ 桑原 美智江さん (放課後児童支援員)

寒くて暑い老朽化したプレハブ教室をお借りしての保育でしたので、子どもたちも新施設を楽しみにしています。保護者の方が安心して預けられるよう、子どもの成長の手助けになれるように頑張ります。

高齢者運転免許証自主返納支援 513万円



なかの せつお 中野 節生さん (内牧区)

父が80歳を過ぎた頃から車の運転を心配していました。ある日、運転中に恐ろしい体験をした様で自分から「もう運転はしない」と言い、運転をやめました。その後は家族が父母を病院や買い物に連れて行っています。正直、面倒ですが、他人様へ迷惑をかけるのではありません。心配はなくなりました。

条例

手話言語条例



まるやま のりこ 丸山 典子さん (手話通訳者)

手話言語条例制定に向けてご尽力頂きました皆様にご感謝申し上げます。聴覚障がい者、私たち手話通訳に関わる者としても本当に嬉しいです。今年2月に亡くなられました県ろう者福祉協会の松永理事長の想いを継ぎ熊本一の手話言語条例を進めて参ります。



ひらやま けんじ 平山 健二さん (手話講座講師)

手話言語条例制定ありがとうございます。私たち聴覚障がい者にとりまして、大変喜ばしくこの大津町に住んで良かったと思います。楽しく学べる手話講座も2回目が終了し、沢山の方々の手話に興味を持って頂き感謝します。これから聴覚障がい者への理解も深まることを期待しています。

議会活性化特別委員会

新部長抱負意見交換会

委員会総括

委員会レポート

一般質問

表彰